

秦野市防衛議員連盟へ挨拶

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、6月28日（火）、神奈川県秦野市役所を訪問し、4月15日に発足した「秦野市防衛議員連盟」の会員12名に対し、自衛隊の挨拶を兼ねた現状説明を行った。

本訪問は、防衛省・自衛隊に対する理解及び幅広い支援受け目的としており、国の防衛はもとより、大規模災害など「いざ」という時の信頼関係の構築と意志の疎通を図るうえで大変有意義なものになった。

秦野市防衛議員連盟会長からは「我が国の安全保障環境を正しく理解するとともに、自衛隊の重要性を広く発信して市民と自衛隊との相互理解を深め、市民生活の安全に貢献していく」との声を聞くことができた。

平塚地域事務所は、「今後も関係協力団体と連携し、多くの方に自衛隊に対する理解と協力を得られるよう防衛基盤の拡充に努める」としている。



防衛議員連盟に対する説明

地域消防署と防災意識を共有

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、6月29日（水）、平塚市消防本部を訪問し、自衛隊との防災意識の共有と連携強化を図った。

8月には平塚市で防災訓練が計画され、平塚地域事務所も参加し災害時の各機関の役割や連携要領を確認する予定であり、今回の訪問は「いざ」という時の信頼関係の構築と意志の疎通を図るうえで大変有意義なものになった。

平塚市消防長からは「国民やその生活、財産を守る組織として、これからも出来る事を共に協力してやっていきたい」との声を聞くことができた。

平塚地域事務所は、「今後も各種機関と連携し、防衛基盤の拡充に努める」としている。



平塚市消防長（右から2人目）
及び幹部と共に